

第3学年週刊情報誌 学年通信

45回生版

兵庫県立伊川谷高等学校 45回生
発行所 〒651-2104
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
県立伊川谷高校 印刷室
電話 代表 078-974-5630
FAX 078-974-5631
https://www.2hyog-cad.jp/weblog/35awadani-hs/

紙面から
5 4 3 2 1

進路渦中不安増す生徒
指定校校内選考会実施
イカ高もつと良くしよう
イカ高ダンスよ今年もか
45回生また本物に載る

兵庫県立
伊川谷高等学校
逍遙歌(1番)
作詞 矢田部 大
作曲 岡村 健治

春神様の朝ばけ
繚乱の風に酔いしれて
あゝ我が友よ青春の
淡き愁いを語るべし

高 学年キャッチフレーズ
笑顔・夢
校訓
自主協同

伊川谷高等学校
45回生
今年も揃った力作ばかりです。
45回生またの名を芸術学年、
どの作品もステキだね!

2学期 進路決定の渦中 不安定感の増す生徒達

—大人がどっしり構えてあげましょう—

2学期に入り、皆がいよいよ進路決定を迫られている状態です。中学のときは異なる進路は人それぞれで、高校では出先となる。希望進路に手が届かず悩む者、周りと進路が異なる自分に不安感を感じる者、他いろいろありますが、皆に共通していることは、「ビビリ」していること。そしてそれは言葉や行動に過剰反応として表れます。



模試直前の生徒の様子

皆のイライラが落ち着いた頃には、もう卒業です(経験談)。残り半年の高校生生活には新しい経験と想い出を沢山作ってほしい。思い通りにいかない、と思ってしまう。多くの者がこんな感じ。うつつ...

『どうすれば伊川谷高校はもっと良くなるか?』本校の特色は?』こんな内容を教職員全体で話し合い考える研修が9月14日(水)の放課後、職員会議後の時間を活用して行いました。生徒主体の活動が多くのびのびとした教育展開を基礎基本を身に付けながら個性を大切に作る。

『担任に絵はがき送ろう!』その結果...
夏休みの課題として渡された1枚の普通用ハガキに『担任にハガキを送ろう!』に使われました。この貴重なハガキを無くし、自分で切手を貼って送ってきた者も居ます。

『脱E判定宣言!』
『E判定宣言!』
『脱E判定宣言!』
『脱E判定宣言!』

『天性人語45th』
生きていけば、困難や失敗、辛い事や苦しい事に直面する事が多々ある。それが例え、どんなに大きなものであっても、生きていく限り、人はそれを乗り越えなければならぬ。失敗しても、『次』があるのだから、『次』に賭ければよい。その為にできる最大限の努力をせよ。しかし、『次』は必ずおとすれるものではない。『次』がないのであれば、『今の状況』の中でできる事、やれる事を考え、行っていくべき。そうやって、少しずつ前へ進んで行けばよいのだ。人生の中には、『生きるために努力をしなければならぬ』ときもある。『生きていく』ときもある。いずれにせよ、人の『生』は永遠ではない。そのたった一つの、替える事がない『命』を全うする事こそが、一番求められる事である。『これからは、みんなと一緒に居る事から、私の伝えたい事、伝えておきたい事を伝えます。口頭で伝えても、今はそれを聴く余裕のない者も居るでしょう。そんなときは、この『学年通信』に言葉として残します。読む余裕のある者は、今読んで下さい。読む余裕のない者は、落ちていくときに読んで下さい。そして考え、感じ取って下さい。自身の未来と、それを支え、応援してくれる人達の存在を。(福田)



R4 絵はがき課題
今年も揃った力作ばかりです。
45回生またの名を芸術学年、
どの作品もステキだね!

第1回指定校校内選考会
慎重が公平を期して実施
9月16日

公表から応募が切まで6日間、当初の予想を超える指定校推薦の応募がありました。出願までの様子を見てみると、『以前より目標を定め、その合格に向け全力を尽くしてきた学校から指定校枠が来た!』という人は、是非とも1つのチャンスとして利用すれば良いでしょう。しかし、『何もやってへんし、夏くらい頑張るかな』と、少し勉強してみただけで、不安しか出ていない、受かりそうな指定校で早く決めてしまおう!』という人も少なからず居る様です(断言!)。出願人数の多さ(あえて人数を書きません)、校内選考会は非常に長時間に及びました。それから

担任の先生は全員に電話で家庭連絡です。選考に落ちた者も心配ですが、もつと心配なのは、『ホンマにその授業の受け方や生活状況で大丈夫か?』という人達です。最も学力の付く今の時期、校内推薦に選ばれただけですが、校内合格の気分になり、何にもせずに進学後に脱落してしまっている教師陣、喜びよりも不安を隠しきれません。指定校推薦で進学した者は、『伊川谷高校の代表』として推薦されていくので、進学先での出席状況や成績が徐々に上がっていく。成績が安定ついでいけんと!

『担任に絵はがき送ろう!』その結果...
夏休みの課題として渡された1枚の普通用ハガキに『担任にハガキを送ろう!』に使われました。この貴重なハガキを無くし、自分で切手を貼って送ってきた者も居ます。

『脱E判定宣言!』
『E判定宣言!』
『脱E判定宣言!』
『脱E判定宣言!』

『天性人語45th』
生きていけば、困難や失敗、辛い事や苦しい事に直面する事が多々ある。それが例え、どんなに大きなものであっても、生きていく限り、人はそれを乗り越えなければならぬ。失敗しても、『次』があるのだから、『次』に賭ければよい。その為にできる最大限の努力をせよ。しかし、『次』は必ずおとすれるものではない。『次』がないのであれば、『今の状況』の中でできる事、やれる事を考え、行っていくべき。そうやって、少しずつ前へ進んで行けばよいのだ。人生の中には、『生きるために努力をしなければならぬ』ときもある。『生きていく』ときもある。いずれにせよ、人の『生』は永遠ではない。そのたった一つの、替える事がない『命』を全うする事こそが、一番求められる事である。『これからは、みんなと一緒に居る事から、私の伝えたい事、伝えておきたい事を伝えます。口頭で伝えても、今はそれを聴く余裕のない者も居るでしょう。そんなときは、この『学年通信』に言葉として残します。読む余裕のある者は、今読んで下さい。読む余裕のない者は、落ちていくときに読んで下さい。そして考え、感じ取って下さい。自身の未来と、それを支え、応援してくれる人達の存在を。(福田)



R4 絵はがき課題
今年も揃った力作ばかりです。
45回生またの名を芸術学年、
どの作品もステキだね!

推薦者の気の緩みに危機感持つ教師陣
『伊川谷高校の代表』として推薦されていくので、進学先での出席状況や成績が徐々に上がっていく。成績が安定ついでいけんと!

『担任に絵はがき送ろう!』その結果...
夏休みの課題として渡された1枚の普通用ハガキに『担任にハガキを送ろう!』に使われました。この貴重なハガキを無くし、自分で切手を貼って送ってきた者も居ます。

『脱E判定宣言!』
『E判定宣言!』
『脱E判定宣言!』
『脱E判定宣言!』

『天性人語45th』
生きていけば、困難や失敗、辛い事や苦しい事に直面する事が多々ある。それが例え、どんなに大きなものであっても、生きていく限り、人はそれを乗り越えなければならぬ。失敗しても、『次』があるのだから、『次』に賭ければよい。その為にできる最大限の努力をせよ。しかし、『次』は必ずおとすれるものではない。『次』がないのであれば、『今の状況』の中でできる事、やれる事を考え、行っていくべき。そうやって、少しずつ前へ進んで行けばよいのだ。人生の中には、『生きるために努力をしなければならぬ』ときもある。『生きていく』ときもある。いずれにせよ、人の『生』は永遠ではない。そのたった一つの、替える事がない『命』を全うする事こそが、一番求められる事である。『これからは、みんなと一緒に居る事から、私の伝えたい事、伝えておきたい事を伝えます。口頭で伝えても、今はそれを聴く余裕のない者も居るでしょう。そんなときは、この『学年通信』に言葉として残します。読む余裕のある者は、今読んで下さい。読む余裕のない者は、落ちていくときに読んで下さい。そして考え、感じ取って下さい。自身の未来と、それを支え、応援してくれる人達の存在を。(福田)

『担任に絵はがき送ろう!』その結果...
夏休みの課題として渡された1枚の普通用ハガキに『担任にハガキを送ろう!』に使われました。この貴重なハガキを無くし、自分で切手を貼って送ってきた者も居ます。

『脱E判定宣言!』
『E判定宣言!』
『脱E判定宣言!』
『脱E判定宣言!』

『天性人語45th』
生きていけば、困難や失敗、辛い事や苦しい事に直面する事が多々ある。それが例え、どんなに大きなものであっても、生きていく限り、人はそれを乗り越えなければならぬ。失敗しても、『次』があるのだから、『次』に賭ければよい。その為にできる最大限の努力をせよ。しかし、『次』は必ずおとすれるものではない。『次』がないのであれば、『今の状況』の中でできる事、やれる事を考え、行っていくべき。そうやって、少しずつ前へ進んで行けばよいのだ。人生の中には、『生きるために努力をしなければならぬ』ときもある。『生きていく』ときもある。いずれにせよ、人の『生』は永遠ではない。そのたった一つの、替える事がない『命』を全うする事こそが、一番求められる事である。『これからは、みんなと一緒に居る事から、私の伝えたい事、伝えておきたい事を伝えます。口頭で伝えても、今はそれを聴く余裕のない者も居るでしょう。そんなときは、この『学年通信』に言葉として残します。読む余裕のある者は、今読んで下さい。読む余裕のない者は、落ちていくときに読んで下さい。そして考え、感じ取って下さい。自身の未来と、それを支え、応援してくれる人達の存在を。(福田)



R4 絵はがき課題
今年も揃った力作ばかりです。
45回生またの名を芸術学年、
どの作品もステキだね!

伊川谷高校はたくさん夢を語る学校です

読者のページ

School Teacher @ Voice

←45回生、また本物に載る



体育大会のあと、21回生から延々続いてきた創作ダンス『イカ高ダンス』、42回生が踊ったのを最後に新型コロナのため中止が続いていました。そしてまた今年も、これまで1&2年

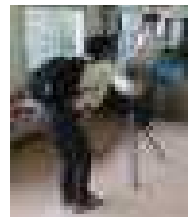
何かちよくちよくと新聞に載せてもらっているイカ高45回生ですが、またまた載りました。神戸新聞の9月10日(土)の朝刊です。因みに一面には「エリザベス英女王死去」「五輪汚職森氏を参事人聴取」などの大きな記事が出ています(汗)。

神戸新聞 2022/09/10(土)朝刊掲載
10/27面写真撮影
10/27面写真

※用語解説 歴史は誰を犠牲にしたか
歴史はまったく同じ事ばかり返さないが、似た様な事は起こる事がある、という

体育大会9月30日(金)

※用語解説 スポーツVI
正式名称「スポーツVI」
3年生の選択科目の一つ。
当然ここではソーラン節は踊らない。



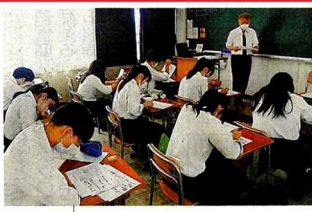
▼2本
なんか朝からカバにカサを2本ぶら下げて登校するIさんが居ました。
「何で2本ぶら下げてるんやろ？」
「昨日、梅谷Tに借りたんです。」

▼たまには覗いてね
職員室前には覗いてね
職員室前には覗いてね
職員室前には覗いてね

▼楽しい事は良い事
HR
中に各クラスを覗いている人と、楽しそうにしている人

情報の大切さなど学ぶ

伊川谷高 18歳成人テーマに授業



「18歳成人のあなたへ」と題した授業が9日、西区伊川谷町長坂の伊川谷高校であり、3年生12人が参加した。同校は日本新聞協会のNIE実践指定校。神戸



第3回 リーガルサポート講座

今回で3回目になったリーガルサポート講座ですが、今回は何かと違います。実施はいつもより1時間早い6限目。しかも各教室には後ろにイスが3脚入っています。

「無知につけ込まれる」
「平和だからこそ、自由には」
「人間の経験・感覚など当てにならない」
「今回もいろいろ話を聴くことができた。もちろん基本的な講義内容は前週と同じですが、実施クラスが変わっているため聴く生徒も異なります。講師の先生もいつも以上に気合が入っています。『必ず値上がりする、は必ず値下がりする』(送信する前に考える)」

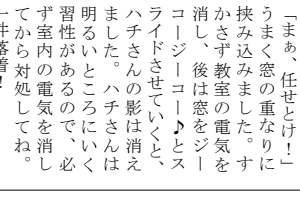
グループワークも取り入れられました



考え、行動できる人になりたい」とそれぞれ話していた。

▼予告
本講座最終日である9月26日(月)、講義終了後に5名の講師の先生方に残っていたいただき、何でも質問コーナー。『何でも質問コーナー』を設けてます。『税理士って儲かる?』『次週からプリントに何でもOKです。是非活用してね!』

▼灼熱地獄
9月も半ばだというのに、夏も半ば返しです。朝でも地面にクツキリと影ができています。とにかく暑い。朝の正門前、生徒を出迎える先生達のポジション



「この笑顔いつまでも」

「自ずとこの『影』に吸い込まれていきます。さすがが結構、体感温度が変わるんですよ。ね、貴重な空間です。」

「まあ、任せとけ!」
うまく窓の重なりに挟み込みました。さすがさず教室の電気を消し、後は窓をジーコージーコッとスライドさせていくと、ハチさんの影は消えました。ハチさんは明るいところに行く習性があるので、必ず室内の電気を消してから対処してね。一件落着!

リールーム? ダマされて安く売っちゃった!③

今回は、前回までのお話のちよとと応用です。前回までのお話では、Bさんに「ダマされたAくん」という設定でした。では、同じ状況でAくんがBさんに「脅されて」スニーカーを安く売ってしまったらどうでしょうか。
「おとなしくそのスニーカーをよこせ。まあ二万円も鬼じやないから、3万円は払ってやるよ」と迫るBさん。Aくんは仕方なくスニーカーを渡しました。そして例によってBさんは事情を知らないCさんに10万円を転売しました。この場合、嘘でダマされた場合と比べて、Aくんは落ち度はありません。こんな脅され方をしたら、誰だつて渡しちゃいます。本心では渡すのは嫌だけど、逆らえない。Aくんは完全に「落ち度のない被害者」です。一方、Cさんにも落ち度がないことは前回のお話と同じです。
互いに落ち度のないAくんとCさんですが、Aくんは意に反してスニーカーを手放さざるを得なかった被害者ですから、どちらをより助けるべきか、ということ。この場合はAくんを助けよう、ということになります。
そうすると、仮にBさんが事情を知らないCさんに転売したとしても、AくんはCさんからスニーカーを取り戻すことができる、ということになり、(もちろん、Cさんは、払った10万円をBさんから取り戻すことはできません)。
どうですか?結論だけを丸暗記するのはなく、「なぜそうなるのか」を考えてみることでより理解や納得が深まります。『法律の勉強はイコール』『天法全書の丸暗記』ではないですよ(笑)。

